



DEN

No.34

2024.11.14

発行

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



心豊かに作業療法



CONTENTS - テーマ: QOL (Quality of life) を高める作業療法

- 1 教えて! 作業療法「QOL (Quality of life) とは」
- 3 まんが作業療法物語 ～施設入所者への作業療法編～
- 8 まんが主人公へのインタビュー
- 9 施設紹介: 介護老人保健施設 希の里、老人保健施設 はね

11 九州作業療法学会開催報告

12 以心 DEN 心

13 活動報告

公益社団法人 大分県作業療法協会

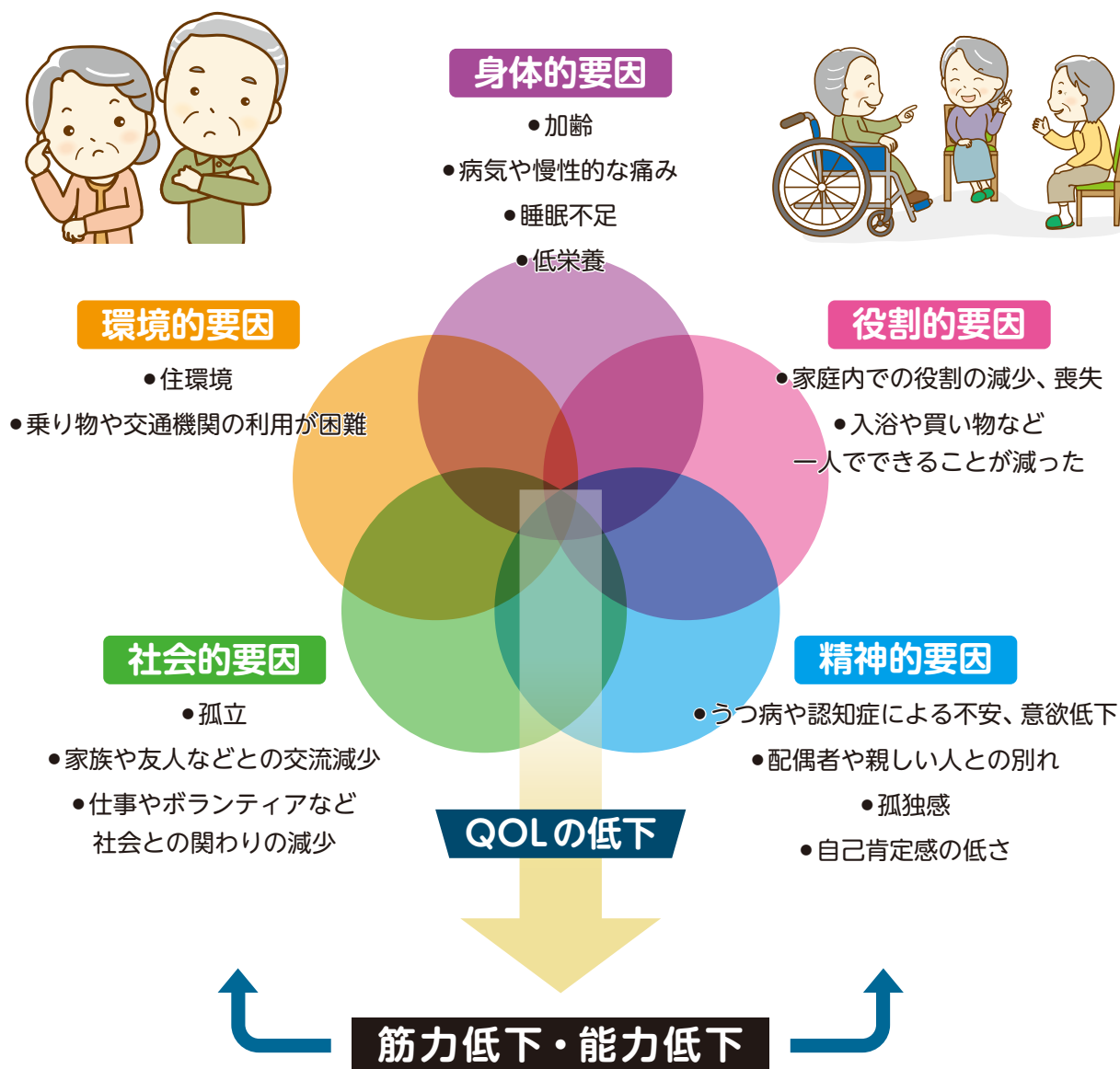


教えて！ 作業療法

QOL (Quality of life) とは

QOL (Quality of life) とは「生命の質」「生活の質」などと訳され、「よりよく生きる」「その人らしく充実した生活を送る」という意味があります。作業療法士は心身機能や日常生活動作能力の回復のために生活を支援するだけでなく、その人らしく充実した生活を送ることができるように「生活の質」つまりQOLの向上を目指して支援を行います。

どうしてQOLが低下するの？



様々な要因によって、人との交流が減ったり、生きがいにしていたことができなくなったりします。その人が大切にしていたことや楽しみにしていたことが失われてしまうことで、QOL（生活の質）が低下していきます。QOL が低下していくと、さらに筋力低下や意欲の低下などの悪循環に陥り、寝たきりになることもあります。

QOLを向上させるために、作業療法士ができること

事例をもとにQOLを向上させるために作業療法士ができることを紹介します。

80歳代 女性

事例

以前は友人と買い物や散歩などを楽しんでいたが、次第に自宅に閉じこもるようになった。家族が外出を促しても拒否して、他者との交流の機会が減り、表情も乏しくなった。

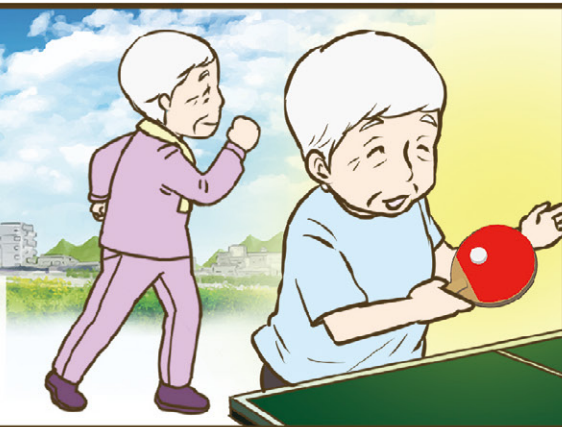
作業療法士ができること	具体的な支援内容など
① 本当の思いを引き出す 本当は叶えたいことがあっても「どうせ無理だろう」と諦めていることや、本人さえも気づいていない事情がある。今回の場合、外出が減った原因が何なのか聴き取りを行う。	何気ない会話の中から聴き取りをしていると、ここ最近、トイレに間に合わないことが増えており、失敗が不安で外出できていないことがわかった。
② 思いを叶えることができるよう支援する どうしたら思いを叶えることができるのか、何が必要なのか、何から始めたらいいのかを分析し、課題を明確にする。また、気持ちに寄り添いながら思いを叶えることができるように支援する。	排泄を失敗する要因を分析し、課題を抽出 1. 下肢筋力低下により、歩く速度が遅くなっている 2. 骨盤底筋群の低下により、トイレの回数や尿漏れが増えた 3. トイレから部屋までの距離が遠い 4. 失敗の体験により不安感が強まっている 課題解決のために必要なことを検討・実施 1. 骨盤底筋群のトレーニング、トイレ動作訓練 2. 手すりやポータブルトイレの検討など、住環境の調整 3. 自宅から外出先までにトイレがあるのか、外出先でもトイレ動作ができるのか等の確認 など
③ 家族や他職種と連携する 作業療法士だけでなく家族や他職種など本人に関わっている人たちに協力してもらうために、引き出した思いを家族や他職種などと共有し、目標を実現できるように一緒に考えていく。	1. 家族と課題や訓練内容を共有し、リハビリの時間以外にも家族の支援を得る 2. 主治医に相談し、薬の調整を検討する 3. 担当ケアマネジャーと訪問リハビリや福祉用具レンタルなどを検討する など
④ 新たな目標へとつなげる 目標達成することができたら、結果や成果を共有し、また新たな目標に向かって支援をする。	3ヶ月後 ・自宅での排泄の失敗がなくなる⇒家族の協力により外出機会が増加⇒外出に対する自信の回復⇒「次は友人と買い物に出かけたい」という新たな目標が生まれる。

このように作業療法士は日々の生活や会話の中から、対象者の思いや力を引き出し、課題を解決していくことで、「その人らしく充実した生活を送る」ことができるように支援していきます。

まんが 作業療法物語

施設入所者への作業療法編

Aさんは98歳の明るく元気な女性です
一人暮らしで身の回りのことは自分でい、
近所の卓球教室に通いながら毎日楽しく過ごしていました



毎年Aさんの誕生日には家族が集まり、
みんなでお祝いをしていました

今年の誕生日もみんなで
ぶく料理を食べに行こうね



毎年ありがとね
誕生日にみんなでぶくを
食べに行くのを
楽しみにしているのよ

ある日、Aさんは卓球教室に通う際に
歩道で転倒してしまいました



その後、すぐに救急搬送され検査の結果、
大腿骨骨折の診断を受けました

Aさんは再び自宅で生活することを目標に、
作業療法では起き上がりや立ち上がり、
車いすやベッドに移る動作、
着替えの練習などを始めました

Aさんは毎日訓練に励みましたが、
以前のように一人で歩ける状態まで回復することはできませんでした

今までのように
一人で生活するのは危ないから、
施設で安全に生活しながら
リハビリを頑張るね

自宅に帰って生活することは難しく、
施設へ入所しリハビリを続けることになりました

またみんなで
会いに来るから
元気でいてね

みんな、
ありがとうね
私もできるだけ
頑張ってみるよ



施設に入所して数ヶ月が経ち、
Aさんは今後の人生に不安を感じ気分が落ち込むようになりました
毎日運動やレクリエーションに参加しても気分が乗らず、
ネガティブな発言が目立ち、食欲も湧かないため徐々に体重が減少していました

骨折前 入所後
50kg→37kg

施設の職員も心配し、Aさんの元気が出るような活動を考えましたが、
あまり効果は得られませんでした



作業療法士の療子はリハビリ室で
ネガティブな A さんが気に入り
声をかけました

もう外には
出られないのかな
動く気になれない

もう楽しみ
なんてないし
後先短いなあ

入所前に比べて
A さんの様子は
どうですか？

1 年前と全然違う、
やせ細っていて顔色も悪いし
元気がなくなった
前みたいに
元気になって欲しいけど
厳しいかな…

施設に入る前は、
A さんはどんなことが
楽しみだったんですか？

卓球には
よく通っていたけど、
この体じゃあねえ

あとは何か
あったかねえ

今年はふぐが
大漁ですよ

そういえば、
毎年私の誕生日に、
家族がふぐ料理屋を
予約してくれていたのよ
東京から帰ってきた孫たちと
一緒に食べに行っていたなあ

去年の 99 歳の誕生日のときも
行くはずだったけど
直前に転んでしまって
行けなかったわ

そうだったん
ですか

それなら今年
(100 歳の誕生日) こそ
ふぐを食べに行きましょう！

もちろん食べに
行きたいねえ
でも足は骨折したし、
最近はベッドに寝ている時間が
長くなってやせ細ったし、

移動は全部車いすで歩けないから
外に出てふぐ料理屋まで
行ける気がしないなあ

誕生日まで
まだ時間があります

それまでにご家族と
ふぐを食べに行けるように
一緒にリハビリ頑張ってみませんか？

まあ、
ぼちぼちリハビリ
頑張ってみようかな

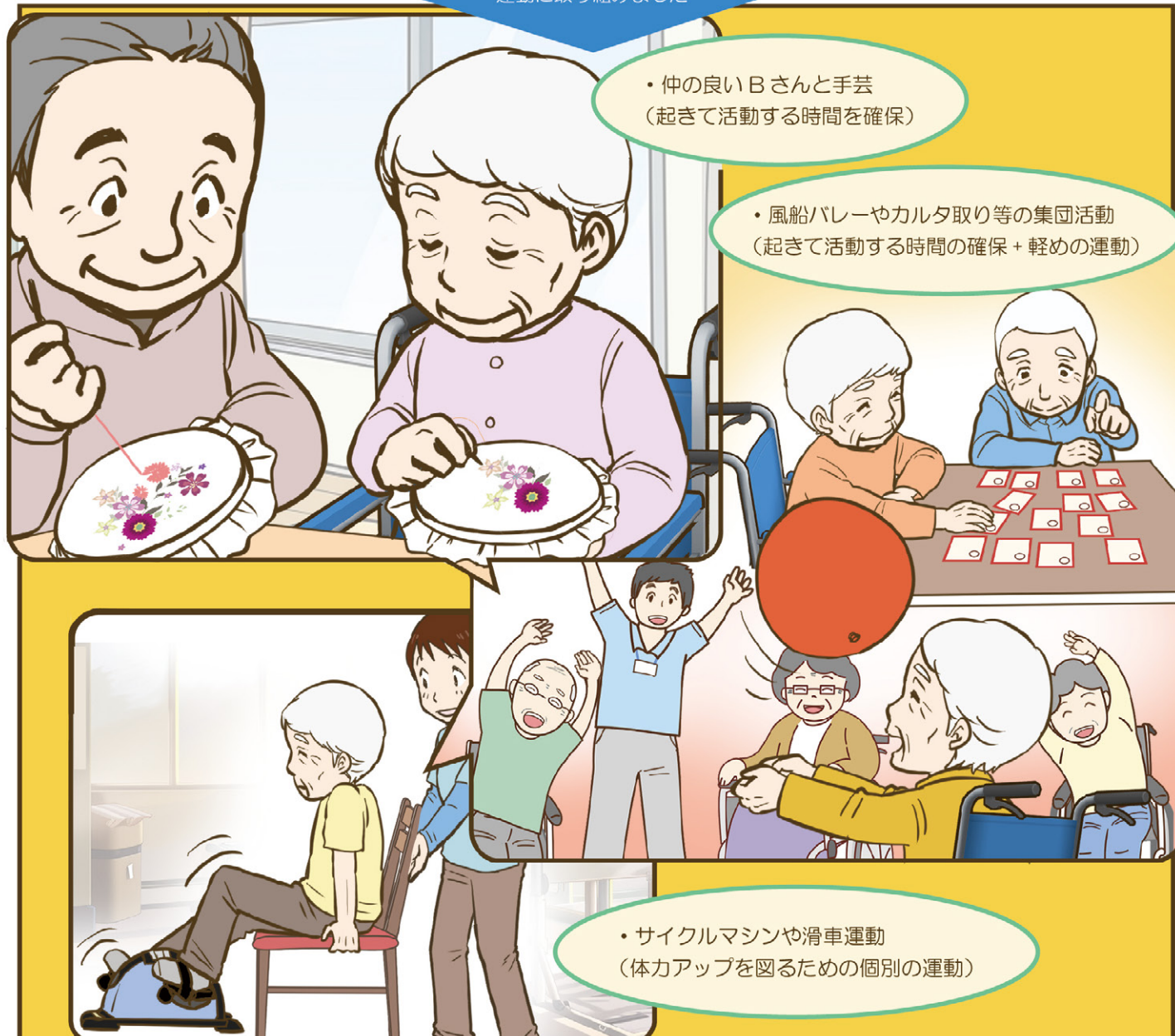
- 現状**
- ・移動は車いすに座り、後ろからスタッフに押してもらっている
 - ・ベッドや車いすへ乗り移るときは、スタッフに両脇を支えてもらいながら行っている
 - ・小食ですぐ箸が止まり少ししか食べられない
 - ・車いすに乗っていても、すぐにベッドに横になることを希望されている
 - ・（口癖）「もう楽しみなんてないし後先短いなあ。」



ふぐを食べに行く時に必要な活動

- ・2〜3時間続けて起きて活動ができる：食べる、家族と話す、座り続ける
- ・お店の出入りと店中の移動ができる：車の乗り降り、歩行器を使った歩行もしくは車いす移動、トイレ動作

Aさんは活動や運動に取り組みました



- ・仲の良いBさんと手芸（起きて活動する時間を確保）

- ・風船バレーやカルタ取り等の集団活動（起きて活動する時間の確保＋軽めの運動）

- ・サイクルマシンや滑車運動（体力アップを図るための個別の運動）

活動や運動の負荷を少しずつ増やしていきました

トイレ動作訓練



平行棒内歩行訓練



歩行器を使った屋外歩行訓練



Aさん、課題をクリアしていているな

もともと卓球をしていたほどなので回復が早いのかも

Aさんは3～4時間続けて起きて活動することができます
お店のトイレは手すりがあってトイレ内の動きも大丈夫です

歩行器を使って歩くこともできますが、
お店の中は車いすで移動できるらしいので
転ぶリスクを回避するためにも
移動だけ車いすを使用しましょう

Aさんの頑張りもあり、
家族とふぐ料理屋に出かけることになりました

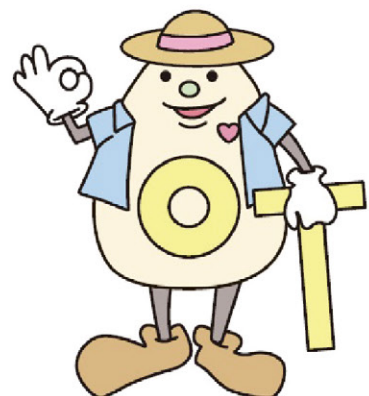


Aさんは骨折後、病院で毎日リハビリを頑張っていました、
自宅に帰るという目標を達成できず、施設へ入所しました

これからの人生に不安を感じ落ち込んでいた Aさんが、
作業療法士に出会いふとした会話の中から新たな目標を見つけ、もう一度
リハビリを頑張ることになりました

作業療法士は目標達成に向けて専門的な視点から課題を設定し、基本的な動作の訓練、
環境の調整、家族への協力依頼などの支援を行いました

楽しみ（目標）があると、気持ちも前向きになります
的確な目標設定をすることにより、日々の生活の質（QOL）を高めることも
作業療法士の大事な役割となります



まんが主人公へのインタビュー

今回のまんが作業療法は、県内の施設に入所されているAさんの体験を基に制作しています。Aさんは101歳になられましたが、今も元気に施設での生活を送っています。当時のリハビリを担当した作業療法士が、Aさんにお話を聞いてみました。

Q1：骨折して入院したときの心境、施設に入ることが決まったときの気持ちを教えてください。

転んで入院して手術をしたけど、今までこんなに大きなけがをしたことがなかったから、これからどうなるんだろうって不安と怖さがあったねえ。退院した後は、本当は家に帰りたかったけど、そうすれば近くに住んでいる息子たちに色々手伝ってもらわないといけないし、迷惑をかけてしまうと思って帰れなかったのよ。

Q2：作業療法士にフグを食べに行くことを提案されたとき、どう思いましたか？

食べに行けるなら嬉しいと思ったよ。でも息子たちやお店側に迷惑をかけてしまうのは嫌だった。あの頃はまだ今ほど元気じゃなかったし、歩けてもいなかったはずだから「本当に行けるんじゃないか？」って半信半疑だったかなあ。でも歩けなくても何ができれば大丈夫か詳しく教えてくれたから、少しずつ行けるかもしれないという気持ちが強くなってた気がするわ。

Q3：久しぶりの家族との外食はいかがでしたか？

施設に入ってから、（コロナの影響もあり）なかなか家族に会えなくて、外に行く機会も少なかったから少し気持ちが落ち込んでたこともあったしね。1年以上ぶりの外出で、遠くに住んでいる子供や孫に会うことも久しぶりだったからとても嬉しかったねえ。

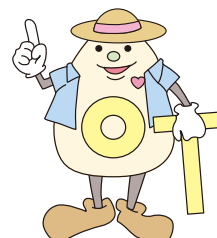
**Q4：久しぶりのフグの味はいかがでしたか？**

やっぱり美味しかったね。まさかまた家族と食べに行けると思っていなかったから最高の100歳の誕生日になったよ。

Q5：次にチャレンジしたいことはありますか？

たまにでもいいからまた家族と外食したり買い物に行ったりしたいねえ。あとは、お父さん（夫）の墓参りに行けたらいいなと思ってる。次は墓参りかな。そのためにリハビリを頑張ってるよ。

Aさん、ありがとうございました。
これからも元気にお過ごしください。



医療法人 積善会 介護老人保健施設 希の里

所在地：大分県豊後高田市呉崎755番地

TEL 0978-22-1580

事業内容：入所(95床)・通所(50名)・訪問リハビリ

関連施設：グループホーム和の里

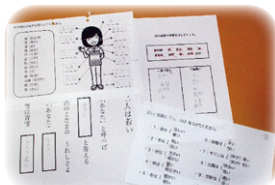
リハスタッフ：OT(4名)、PT(1名)、リハビリ助手〈介護福祉士〉(2名)



施設外観



ベッド移乗時のリフト使用の場面



脳活性化訓練のプリント



ドキドキへび退治Ⅱ(下肢運動ゲーム)



リハビリスタッフ

施設紹介

当施設は平成3年6月に母体である精神科、千嶋病院の併設施設として開設しました。

施設のある豊後高田市は、昭和の町や日本夕日百選に選ばれた真玉海岸の夕日、手打ちそばなど多くの観光名所や特産があります。

希の里は「医療・保健・福祉を通じ地域社会に奉仕する」ことを理念に、入所者、ご利用者の自立支援や笑顔を引き出すリハビリテーションを展開しています。作業療法士の役割として、自宅を訪問し生活動線や環境を確認するとともに、在宅の生活を念頭に入れた機能訓練やADL・IADL訓練、認知症の方に対する回想法や脳活性化訓練などを行っています。訓練中は入所者、ご利用者の笑顔を意識しながら関わりを持つように心がけています。

また平成22年より市の委託を受け一般介護予防事業である「はつらつ健脚教室」を実施し、地域の高齢者の健康促進にも力を入れています。

令和4年からは訪問リハビリテーションを立ち上げ、施設から在宅まで一貫したアプローチができる取り組みも行っています。

ノーリフティングケアへの取り組み

令和2年8月から「ノーリフティングケア」の取り組みを行っています。「ノーリフティングケア」とは、単に持ち上げない介護技術ではなく、福祉・医療の現場から腰痛をなくす取り組みそのものを示す言葉です。現在、ノーリフトコーディネーター2名(1名は作業療法士)を中心に、入所者も職員も負担のかからない介助方法を実施し、腰痛者20%以下の施設を目指しています。

フェイスブックを開設

施設・通所リハの日常や行事など載せていますので、ぜひご覧ください。お友達登録していただくと大変ありがたいです。よろしくお願いいたします。



作品作りの一場面



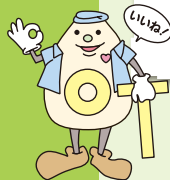
入所者様のグループ作品



通所者様の作品(額縁も通所者様の手作りです)



記事担当者／瀬戸島毅



老人保健施設 はね

所在地：大分県玖珠郡玖珠町大字山田2696

TEL 0973-72-5550 FAX 0973-72-5521

事業内容：入所サービス・短期入所サービス・
通所リハビリテーション・居宅支援事業所

対象者：病院を退院するようになったが退院後の在宅生活に不安がある方
入院するほどではないが今の体調では在宅生活に不安がある方
短い期間で集中してリハビリを受けたい方

冬季や夏季の体調を崩しやすい時期に自宅での生活に不安がある方

入所定員：82名 通所定員：34名

リハスタッフ：OT(2名)、PT(2名)、ST(1名)

施設理念：『笑顔とやさしさを利用者の尊厳を守ります』



園芸(畑)作業風景



園芸(畑)作業風景



調理レク



趣味活動(習字)

私たちの施設は、県西部に位置する玖珠町にある唯一の老人保健施設です。地域の過疎化と高齢化により、高齢者が在宅生活を継続することは徐々に難しくなっています。私たちは、在宅生活を希望する高齢者にリハビリテーションや医療・介護を提供し、住み慣れた地域での生活を続けられるように支援しています。

入所のリハビリは作業療法士、理学療法士、言語聴覚士による日常生活動作訓練、認知機能の維持向上を目的とした園芸療法や調理レク、集団体操、摂食嚥下訓練など個別性の高い幅広いプログラムを提供・実施しています。

通所リハビリテーションでは、在宅での生活が円滑に行えるように、身体機能向上のための個別リハビリと入浴動作を含めたADL訓練を提供するとともに、能力別に分かれての体操や、習字・手芸などの趣味活動を提供しています。

また、歩行動作の改善・転倒予防にも力を入れており、AIによる歩行分析ソフトを取り入れた歩行評価の取り組みも行っています。

さらに、『地域包括ケア』の一環として、地域の活動へのセラピスト派遣や高齢者サロンで体力測定や運動指導を行う出張リハなど、地域との連携・共同にも積極的に取り組んでいます。

老人保健施設における作業療法士の役割

老人保健施設で働く作業療法士は、歩行や筋力などの身体機能だけに目を向けるのではなく、高齢者の意欲や生活の活力といった心の部分や、家族・地域・サービスなど利用者様を取り巻く様々な環境を結びつけながら、高齢者の生活を支えることが役割であると考えています。心が豊かになり生活が楽しくなることを目指して活動を行っています。

私たちと働いていただける仲間を募集しています。



施設外観



リハビリストッフ



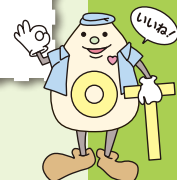
はねロゴマーク作成



趣味活動(手芸)



記事担当者/穴井薫



九州作業療法学会 2024 in 大分

挑戦 ～作業療法士はイノベーションを起こせるか～

九州・沖縄 8 県の持ち回りで開催している九州作業療法学会が、今年は大分県で開催されました。5 年ぶりの対面開催ということもあり、約 2 年の準備期間がかかりました。オンライン開催では味わえない会場の緊張や熱気を感じられ、「挑戦」への意欲が高まる充実した 2 日間となりました。

会 期：2024 年 6 月 22 日（土）・6 月 23 日（日）

会 場：J:COM ホルトホール大分

講 演：学会長講演、特別講演、招待講演、教育講演 3 題、シンポジウム、セミナー 3 題

一般演題発表：口述発表 81 題 ポスター発表 66 題

参 加 者：516 名

表 彰：《最優秀演題》

帯刀 麻衣（いいしょわ倶楽部－OitaSocialOTProject－）

「地域の育児期夫婦を対象とした『ライフスタイル再構築プログラム』の取り組み－第一報」
《優秀演題》

梶山 理予子（社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター）

「くも膜下出血により記憶障害と病識の欠如を主とした高次脳機能障害を呈した症例
－母親としての役割再獲得に向けたノートと LINE での家族支援－」

後藤 萌（医療法人社団 豊永会 飯塚記念病院）

「病室に閉じこもり傾向の軽度認知症患者に対する活動の質評価法を用いた介入
～安心した集団参加を目指して～」

児玉 敬祐（医療法人光心会 どんぐりの杜クリニック）

「幼保小の架け橋プログラム事業において～教育現場における作業療法士の可能性～」

坂口 聡子（広島大学大学院 医系科学研究科）

「がん患者の心理社会的側面に対してデジタル回想コラージュを用いた一事例」



本学会は 5 年ぶりの対面開催となり久しぶりの友人や知人との再会も多くあったことと思います。対面開催の期待もあり演題数も 151 題と多くの登録をいただきました。また本学会のテーマは「挑戦～作業療法士はイノベーションを起こせるか～」であり様々な領域での作業療法士の挑戦の姿が学会を通して鮮明になったと思います。今後の日本そして九州では少子高齢化、人口減少、支え手不足は年々深刻になっております。本学会で様々な領域における作業療法士の可能性を感じ学んだことと思います。その学びを現場で活かし地域課題の解決ツールとしての作業療法を広めていただければと本学会を企画した大分の実行委員のメンバーは大変嬉しく思います。

また学会にご参加いただきました御来賓の皆様、そして機器展示やイノベーションスペースへのご参加、広告、後援をいただいた団体・企業の皆様、関わっていただいた全ての皆様に深く感謝申し上げます。今後も地域で様々な作業療法士と出会うこともあると思います。引き続き我々九州の作業療法士へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本学会が参加していただいた全ての皆様に有意義で多くの学びの場であったこと、そして開催地であった大分県を楽しんでいただいたことを願い御礼の結びとさせていただきます。

学会長 佐藤孝臣（株式会社ライフリー）



生き残るために

常務理事 **山崎 翔太**（明野中央病院）



ある研修会で、「最も強い者が生き残るのではない、最も賢い者が残るのでもない、唯一生き残るのは変化できる者である（チャールズ・ダーウィン）。」という言葉聞き、「なるほど、確かに。」とすごく共感を持ってから、今日に至っています。

私は作業療法士になり13年が経過しました。それと同時に大分県作業療法協会に入会し、部局に所属してからも13年が経過しましたが、職場も部局も変わらず現在を迎えています。しかし、その中でもたくさんの変化がありました。もともと、私は水泳を習っていましたが、最近では肌が以前より水を弾かなくなったと感じる自身の体を始め、作業療法の内容、自己研鑽を行うための方法、プライベート、世の中など、たくさんの変化を経験し、適応してきました。

何か変わる瞬間は不安も大きく、ストレスも感じます。しかし、そのようなときは様々な人が助けてくれたので、どうにか乗り越えることができました。人との繋がりはとても大切にしなければと感じています。

私の働き始めてからの人生のターニングポイントは人（作業療法士）との出会いとその言葉です。私の場合はほぼ懇親会での出会いが主でしたが、今でも色々と覚えていますし、それが糧になっています。誰に言われたかまでは覚えていませんが、そんなものだと思いますし、協会活動をしていたので、そのような機会に触れることが多かったのはラッキーでした。本音の情報は私の心に刺さるものが多く、それが私を取り巻く様々な変化への適応に至っていると感じました。

話は変わりますが、来年度は日本作業療法士協会の生涯教育制度がアップデートします。これを機に、研修会への参加や、協会事業への参加など人との繋がりの場を増やしてみませんか。作業療法士はこれからどんどん変化する職種だと思います。みんなこれから作業療法の未来を変えて生き残りましょう！

1)「大分大学開放イベント」への作業療法コーナー

開催日：令和5年11月5日(日)10:00～16:00
場 所：大分大学 旦野原キャンパス
内 容：片麻痺の方の更衣体験など
参加者：80名

作業療法ミニフェスタ in 日田市健康福祉まつり

開催日：令和5年10月8日(日)9:00～15:15
場 所：パトリア日田 ロビー
内 容：作業療法体験のプラ板作り
参加者：190名

作業療法ミニフェスタ in 春日まつり

開催日：令和5年11月19日(日)10:00～14:00
場 所：王子中学校体育館
内 容：フラッグ作り、リハビリ相談
参加者：250名

作業療法ミニフェスタ in USAクリスマスイベント

開催日：令和5年12月17日(日)10:00～15:00
場 所：アドテック株式会社
内 容：モルック体験、作業療法士施設紹介
参加者：250名

2)「大分県保健医療団体協議会 げんきフェア2023」

開催日：令和5年10月1日(日)10:00～16:00
場 所：コンバルホール
内 容：作業療法クイズ、広報、相談窓口
来場者：約60名

3) 2023年度 特別研修会

開催日：令和6年1月14日(日)9:30～15:05
場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス
テーマ：「イノベーション・オブ・ライフ
～仕事とプライベートの調和を考える～」
内 容：①講演Ⅰ「働く」と「幸せ」のツナギ方
②シンポジウム「バランスのカギを探る
～様々な立場のワークライフバランス～」
③講演Ⅱ & ワークショップ
「本質を見抜く力～自分ブランドの発見と活用～」
講 師：①篠原 丈司(社会保険労務士篠原事務所)
②安部 美咲(畑病院)
大野 哲也(大分リハビリテーション病院)
戸高 綾(別府リハビリテーションセンター)
③青山 正樹(May graphics)
参加者：21名(会員21名)

4) 身障・老年期分野研修会

開催日：第1部 令和5年11月29日(水)19:30～21:00
第2部 令和5年12月10日(日)10:00～12:30
場 所：オンライン
テーマ：内部障害のある人への作業療法展開
～その基礎と臨床実践を3人のOTから学ぶ～
内 容：第1部 講義「内部障害への作業療法評価と実践」
第2部 講義①「基礎疾患(内部障害)を有した高齢者に
対する経口摂取への取り組み
～地域へつなげる作業療法実践～」
講義②「糖尿病療養支援チームにおける
作業療法士の役割」
講 師：第1部 高島 千敬(広島都市学園大学)
第2部 ①塚田 徹(竹田総合病院)
②成田 雄一(医療法人光陽会 関東病院)
参加者：第1部 31名(会員27名、会員外作業療法士4名)
第2部 12名(会員12名)

精神分野研修会

開催日：令和5年10月25日(水)19:00～21:00
場 所：オンライン
テーマ：アルコール依存症患者の作業療法評価と実践
内 容：講演「全領域の作業療法士に伝えたい
アルコール依存症と動機づけ面接」
①アルコール依存症の基本～関われるのは氷山の一角～
②アルコール依存症の治療ギャップと身体障害領域の重要性
③動機づけ面接と行動変容
講 師：浪久 悠(国立精神・神経医療研究センター病院)
参加者：36名

発達分野研修会

開催日：令和6年3月8日(金)19:00～20:30
場 所：オンライン
テーマ：大人の発達障害
～成長すると直面する課題と支援の実際～
内 容：講義 おとなの発達障害の特性と課題、
社会生活継続に向けた支援と工夫、事例紹介
講 師：芳賀 大輔(NPO法人日本学び協会ワンモア)
参加者：17名

5) 現職者共通研修Ⅴ

開催日：令和5年10月10日(火)19:30～21:00
場 所：オンライン
内 容：保健・医療・福祉と地域支援
講 師：佐藤 優(大分大学医学部附属病院)
参加者：12名

現職者共通研修Ⅵ

開催日：令和5年10月31日(火)19:30～21:00
場 所：オンライン
内 容：実践のための作業療法研究
講 師：彌田 剛(藤華医療技術専門学校)
参加者：14名

現職者共通研修Ⅶ

開催日：令和5年11月21日(火)19:30～21:00
場 所：オンライン
内 容：日本と世界における作業療法の動向
講 師：高森 聖人(会長/一般社団法人虹色)
参加者：20名

現職者共通研修Ⅷ

開催日：令和5年11月7日(火)19:30～21:00
場 所：オンライン
内 容：事例報告と事例研究
講 師：矢野 高正(大分リハビリテーション専門学校)
参加者：15名

現職者共通研修Ⅸ

開催日：令和6年3月3日(日)10:30～12:00
場 所：J:COMホルトホール大分406会議室、オンライン
内 容：事例検討
参加者：12名

現職者共通研修Ⅹ

開催日：令和6年3月3日(日)10:30～12:00
場 所：J:COMホルトホール大分406会議室、オンライン
内 容：事例報告
事例報告者：元永 風花(大分リハビリテーション病院)
三戸 音寧(明野中央病院)

6) 現職者選択研修「身体障害領域における作業療法」

開催日：令和6年2月4日(日)9:30～16:40
場 所：J:COMホルトホール大分408会議室
内 容：①「3Dプリンターを活用した自助具作り」
②「福祉用具の導入の仕方・最新の福祉用具の動向」
講 師：①川口 晋平(田川新生病院
訪問リハビリテーションセンター/作業療法士)
②松本 奈穂(株式会社フロンティア)
参加者：14名(会員14名)

7) 生活行為向上マネジメント実践者研修Ⅱ

開催日：令和5年11月2日(木)19:00～21:00
場 所：オンライン
内 容：MTDLP実践事例の検討
発表者：小松 由夏(新百合ヶ丘総合病院)
村上 恭央(東大阪病院)
参加者：6名(会員1名、他県士会会員5名)

生活行為向上マネジメント実践者研修Ⅲ

開催日：令和6年3月1日(金)19:00～21:00
場 所：オンライン
内 容：MTDLP実践事例の発表及び検討
発表者：中畑 聡一郎(内田病院)
原口 梨乃(大分リハビリテーション病院)
参加者：10名(会員8名、他県士会会員2名)



生活行為向上マネジメント書き方研修会

開催日：令和5年10月15日(日) 9:30～13:00
場 所：大分県中小企業会館 中会議室、オンライン
内 容：①講演「MTDLP実践のポイントと事例登録のコツ-第2弾-」
②登録チャレンジ事例検討
講 師：柴田 八衣子(兵庫県立リハビリテーション中央病院)
発表者：濱砂 彰吾(川島整形外科クリニック)
白見 美菜(村上記念病院)
参加者：11名(会員8名、他県士会会員3名)

8) 厚生労働省指定「臨床実習指導者講習会」

開催日：第11回 令和5年10月7日(土) 9:00～18:50
令和5年10月8日(日) 8:45～16:05
第12回 令和6年1月27日(土) 9:00～18:50
令和6年1月28日(日) 9:15～16:35
場 所：第11回 オンライン、第12回 大分東部公民館
参加者：第11回 18名(会員14名、他職種4名)
第12回 15名(会員13名、他職種2名)

9) 認知症作業療法実践研修

第3回 研修会「ウェルビーイングを高める支援」

開催日：令和5年11月14日(火) 19:30～21:30
場 所：オンライン
内 容：ウェルビーイングを高める支援～観察評価と支援の方法～
講 師：白井 はる奈(佛教大学)
参加者：25名(会員25名)

第4回 事例報告編

開催日：令和6年2月6日(火) 19:30～21:30
場 所：オンライン
内 容：「認知症作業療法評価の手引き」を活用した事例報告
およびグループワーク
報告者：中山 晃佑(大分中村病院)
藤原 功二(別府リハビリテーションセンター)
峰尾 亮平(児玉病院)
参加者：12名(会員11名、会員外作業療法士1名)

10) 人材育成道場(地域ケア会議助言者編)

開催日：令和5年12月9日(土) 10:00～15:00
場 所：大分県作業療法協会ビル
内 容：地域ケア会議に派遣する助言者育成のための講義や模擬演習
①地域ケア会議において作業療法士が果たす役割
②グループディスカッション(事例を通して)
講 師：①後藤 綾(別府リハビリテーションセンター)
②村田 健太(湯布院病院)
参加者：3名(会員3名)

地域ケア会議新規助言者研修会

開催日：令和6年1月19日(金) 19:15～21:15
場 所：オンライン
内 容：地域ケア会議に派遣する助言者育成のための研修、
講義とディスカッション
講 師：佐藤 暁(常務理事/井野辺病院)
参加者：3名(会員3名)

地域ケア会議助言者スキルアップ研修

開催日：令和6年2月16日(金) 19:00～21:00
場 所：オンライン
内 容：通所型サービスC事例に対する助言の在り方
～「地域包括ケアシステム参画の手引き」の活用方法～
講 師：佐藤 孝臣(株式会社アイトラック)
参加者：46名(会員46名)

11) 母子保健事業・放課後児童クラブ巡回支援事業派遣者の情報交換会

開催日：令和6年3月18日(月) 19:30～21:00
場 所：オンライン
内 容：発達領域派遣事業報告および情報交換会
参加者：14名(会員14名)

12) 作業療法座談会 「語ろうえ」Ⅲ

テーマ：作業療法(士)に関わる仕事を語ろうえ
～組織の中で求められていること～
開催日：令和6年2月22日(木) 19:30～21:00
場 所：オンライン
内 容：組織の中で求められていること、意見交換会
話題提供者：後藤 伸太(へつぎ病院)
コーディネーター：佐藤 暁(常務理事/井野辺病院)
参加者：16名(会員16名)

13) 支部研修会

大分東・大分南支部研修会

開催日：令和5年12月21日(木) 19:00～21:00
場 所：大分リハビリテーション病院 通所リハビリ室
内 容：重度片麻痺患者への介入方法
講 師：高橋 弘樹(大分県立病院)
参加者：8名(会員8名)

大分中央・大分西支部研修会

開催日：令和6年2月21日(水) 19:30～21:00
場 所：J:COMホルトホール大分403会議室
内 容：移乗動作と介助方法 講義・実技
講 師：松本 奈穂(株式会社フロントピア)
参加者：21名(会員19名、他職種2名)

14) 支部事例検討会

西部支部事例検討会

開催日：令和6年2月8日(木) 19:00～21:00
場 所：済生会日田病院 2階会議室
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：高嶋 優佳(桂林病院)
山田 慎太郎(一ノ宮脳神経外科病院)
ファシリテーター：重富 陽祐(一ノ宮脳神経外科病院)
高倉 友香(済生会日田病院)
参加者：46名(会員34名、会員外作業療法士7名、他職種5名)

北部支部事例検討会

開催日：令和6年2月9日(金) 18:45～20:45
場 所：宇佐市勤労者総合福祉センター さんさん館
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：山本 晴菜(和田病院)
白見 美菜(村上記念病院)
ファシリテーター：中野 尚義(いずみの園)
参加者：29名(会員26名、会員外作業療法士2名、学生1名)

東部支部事例検討会

開催日：令和6年2月15日(木) 19:00～21:00
場 所：交流ひろばHiCaLi2F 多目的室3
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：武生 光陽(鶴見台病院)、牛嶋 祐希(鶴見台病院)
江口 彰人(黒木記念病院)
ファシリテーター：竹川 和昂(国東市民病院)
参加者：32名(会員32名)

南部支部事例検討会

開催日：令和6年2月28日(水) 19:00～21:00
場 所：オンライン
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：戸田 菜里(長門記念病院)
石原 智樹(南海医療センター)
ファシリテーター：高島 裕太(津久見中央病院)
参加者：16名(会員16名)

大分中央・大分西支部事例検討会

開催日：令和6年3月6日(水) 19:00～21:00
場 所：オンライン
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：安部 誠貴(こどもデイサービス夢色)
川口 香穂里(デイケア中島)
ファシリテーター：永松 謙一(博愛病院)
佐藤 翼(大分リハビリテーション専門学校)
参加者：27名(会員27名)

大分南・大分東支部事例検討会

開催日：令和6年3月7日(木) 19:00～21:00
場 所：オンライン
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：植木 彩香(へつぎ病院)、中川 花恋(諏訪の杜病院)
ファシリテーター：桑原 和音(大分リハビリテーション病院)
参加者：25名(会員23名、他県士会会員2名)

豊肥支部事例検討会

開催日：令和6年3月21日(木) 19:00～21:00
場 所：藤華医療技術専門学校 リハビリ学館
内 容：事例報告およびディスカッション
事例提供者：首藤 由樹(みえ病院)、衛本 優月(みえ病院)
ファシリテーター：相馬 優樹(ニコニコ銘水苑)
参加者：16名(会員16名)

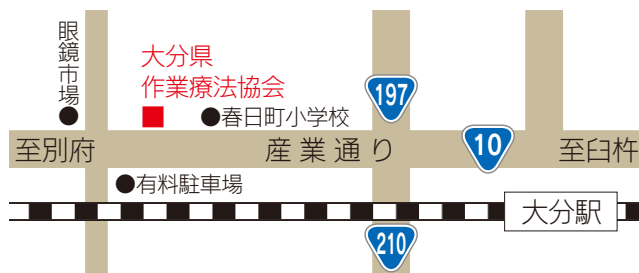


作業療法士は、

そのひとの人生が生き生きとしたものとなるよう、仕事、遊びなどの日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、こころとからだを元気にするリハビリテーションの専門職です。



リハビリテーションのことや、作業療法のことでは分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。



公益社団法人 大分県作業療法協会

〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル

TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663

<http://www.oita-ot.com>